

診療ガイドライン 産科編2017解説講習

2017年4月発刊「診療ガイドライン産科編2017」で
押さえておきたい改訂のポイントを解説します。
皆様のご来場をお待ちしております。

開催日時：2017年4月15日(土) 8:00から10:00

会場： 第5会場 広島 NTTクレドホール 11F

司会：順天堂大学 板倉 敦夫
大分県立病院 佐藤 昌司

解説予定CQ：

- CQ004-3 妊娠・産褥期に深部静脈血栓塞栓症（DVT）や肺塞栓症（PTE）の発症を疑ったら？
- CQ011 妊娠中の精神障害のリスク評価の方法は？
- CQ315 産褥精神障害の取り扱いは？
- CQ109 妊婦の飲酒については？
- CQ309-1 妊婦健診で高血圧や蛋白尿を認めたら？
- CQ309-2 妊娠高血圧腎症と診断されたら？
- CQ406 吸引・鉗子分娩，子宮底圧迫法（クリステレル胎児圧出法）施行時の注意事項は？
- CQ412-1 分娩誘発の方法とその注意点は？
- CQ412-2 分娩誘発を目的とした頸管熟化・拡張法の注意点は？
- CQ415-1 子宮収縮薬（オキシトシン，プロスタグランジ F2 α ，ならびにプロスタグランジン E2 錠の三者）投与開始前に確認すべき点は？
- CQ415-2 子宮収縮薬投与中にルーチンに行うべきことは？
- CQ415-3 子宮収縮薬投与中の増量・再投与あるいは減量・中止については？
- CQ416 選択的帝王切開時に注意することは？
- CQ606 妊娠中に HBs抗原陽性が判明した場合は？